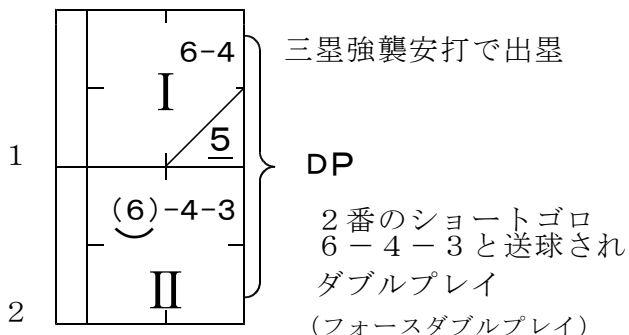


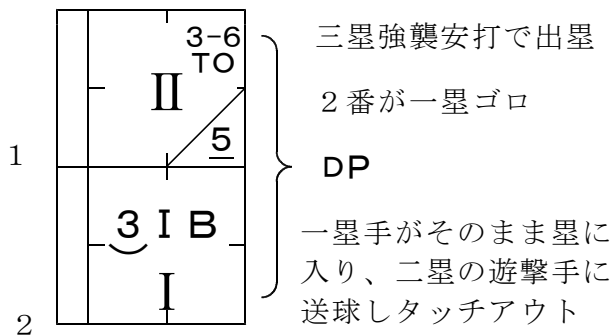
11 併殺・三重殺と挟殺プレイ

併殺 (ダブルプレイ)

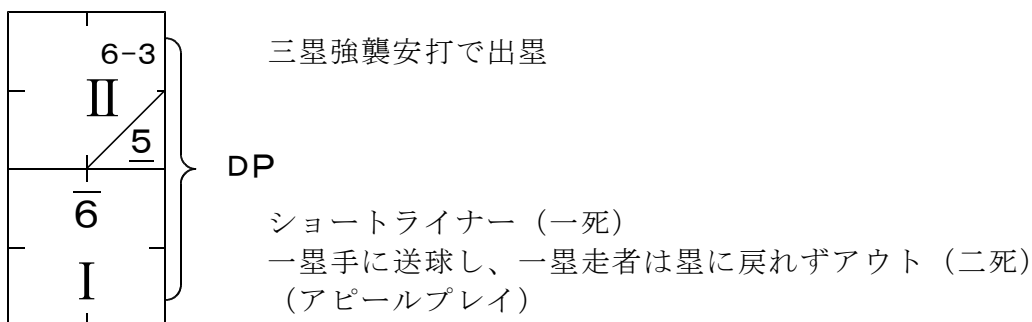
① 併殺 (フォースダブルプレイ)



② 併殺 (リバースフォースダブルプレイ)

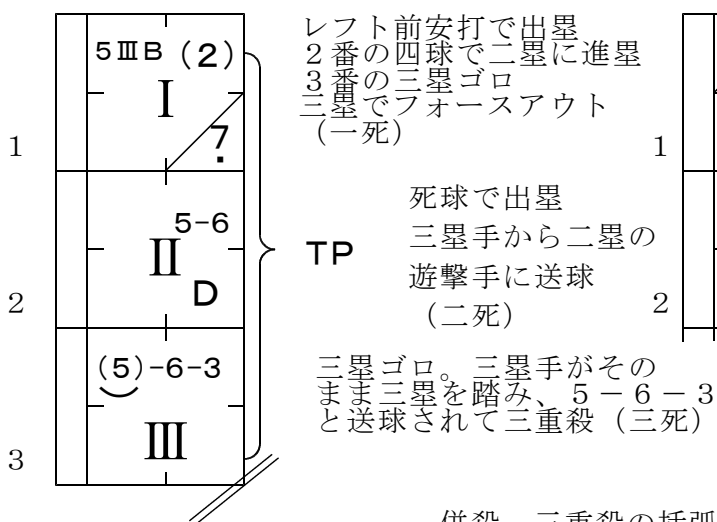


③ 併殺 (その3)

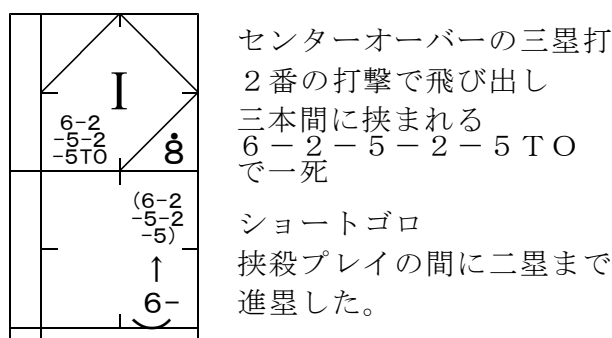


発展問題

④ 三重殺 (トリプルプレイ)



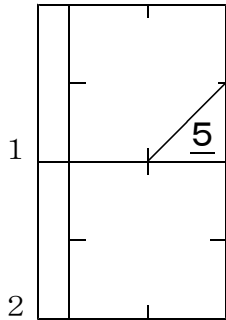
⑤ 挟殺プレイ (ランダウンプレイ)



併殺、三重殺の括弧 (} または {) を描く位置は、スコアカードの他の記帳に差し支えないように記入します。

(実習)

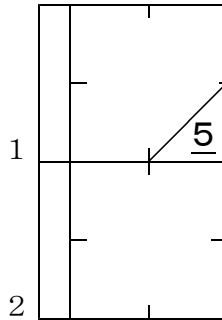
① 併殺 (フォースダブルプレイ)



三塁強襲安打で出塁

2番のショートゴロ
6-4-3と送球され
ダブルプレイ

② 併殺 (リバースフォースダブルプレイ)

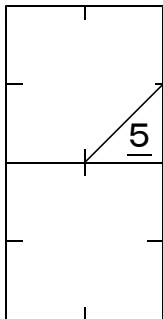


三塁強襲安打で出塁

2番が一塁ゴロ

一塁手がそのまま塁に
入り、二塁の遊撃手に
送球しタッチアウト

③ 併殺 (その3)



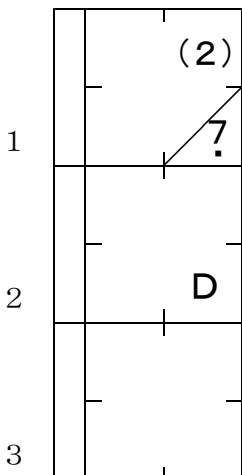
三塁強襲安打で出塁

ショートライナー (一死)

一塁手に送球し、一塁走者は塁に戻れずアウト (二死)
(アピールプレイ)

発展問題

④ 三重殺 (トリプルプレイ)

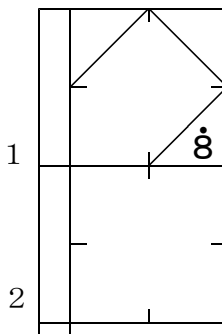


レフト前安打で出塁
2番の四球で二塁に進塁
3番の三塁ゴロ
三塁でフォースアウト
(一死)

死球で出塁
三塁手から二塁の
遊撃手に送球
(二死)

三塁ゴロ。三塁手がその
まま三塁を踏み、5-6-3
と送球されて三重殺 (三死)

⑤ 挟殺プレイ (ランダウンプレイ)

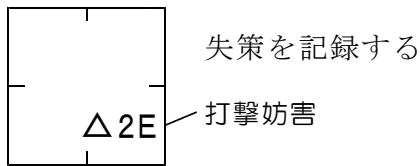


センターオーバーの三塁打
2番の打撃で飛び出し
三本間に挟まれる
6-2-5-2-5 TO
で一死

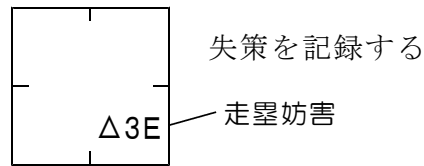
ショートゴロ
挟殺プレイの間に二塁まで
進塁した。

12 打撃妨害・走塁妨害・守備妨害

① 捕手が打撃妨害

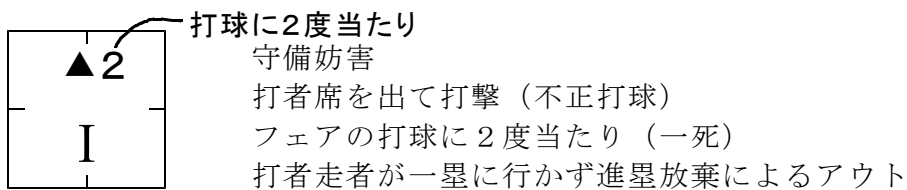


② 一塁手が打者走者の走塁妨害



※打撃妨害・一塁への走塁妨害の打席は、打数に数えない
△の場合は、必ずE（失策）が記録される

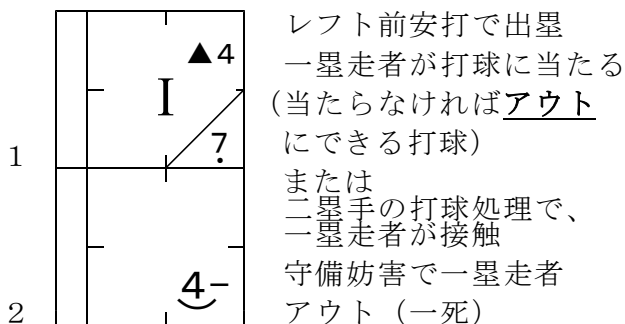
③ 打者・打者走者の守備妨害



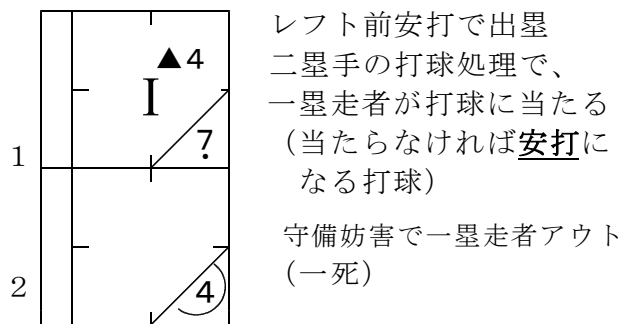
※例のように線で引き出しメモを残すとよい

発展問題

④ 走者の守備妨害（その1）

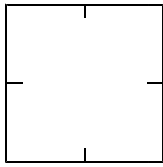


⑤ 走者の守備妨害（その2）

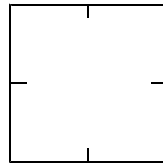


(実習)

① 捕手が打撃妨害

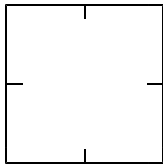


② 一塁手が打者走者の走塁妨害



※打撃妨害・一塁への走塁妨害の打席は、打数に数えない

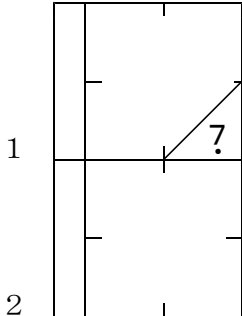
③ 打者・打者走者の守備妨害



フェアの打球に2度当たり (一死)

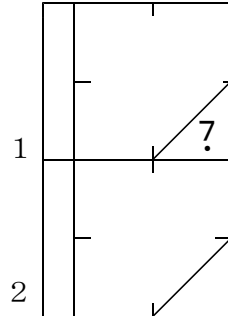
発展問題

④ 走者の守備妨害 (その1)



レフト前安打で出塁
一塁走者が打球に当たる
(当たらなければアウト
にできる打球)
または
二塁手の打球処理で、
一塁走者が接触
守備妨害で一塁走者
アウト (一死)

⑤ 走者の守備妨害 (その2)



レフト前安打で出塁
二塁手の打球処理で、
一塁走者が打球に当たる
(当たらなければ安打に
なる打球)
守備妨害で一塁走者アウト
(一死)

第4章 選手の交代の記帳

1 攻撃のときに交代が行われたとき

代打は交代するボックスの左に $\left. \begin{array}{l} \text{ } \\ \text{ } \\ \text{ } \end{array} \right\}$ を記し、代打の記号 **H** を記入する

代走は交代する塁に $\sim\sim\sim$ または $\left. \begin{array}{l} \text{ } \\ \text{ } \\ \text{ } \end{array} \right\}$ を記し、代走の記号 **R** を記入する

① 代 打

位置	山手高校	No		3	4
1	上野	27	H $\left. \begin{array}{l} \text{ } \\ \text{ } \\ \text{ } \end{array} \right\}$		
H	品川	25			
		6			
5	田端	15	H $\left. \begin{array}{l} \text{ } \\ \text{ } \\ \text{ } \end{array} \right\}$		
H	神田	13			
		7			

3回表、山手高校の上野に代わり、品川(#25)が代打

7番田端、2ストライクの後、神田(#13)が代打に入る

② 代 走

位置	山手高校	No		2	3
4	目黒	37	R $\left. \begin{array}{l} \text{ } \\ \text{ } \\ \text{ } \end{array} \right\}$		
R	大崎	45			
		3			
6	大塚	55	R $\left. \begin{array}{l} \text{ } \\ \text{ } \\ \text{ } \end{array} \right\}$		
R	渋谷	10			
		4			

2回表、二塁走者目黒に代わり、大崎(#45)が代走

死球で出塁した大塚に代わり、渋谷が代走

(注) UN・・・ユニフォーム・ナンバー # で表すこととする

③ 再出場で打席に入るとき

3回表、6番の上野に代わり、代打品川。(品川はショートライナーで一死)

7番の田端に代わり、代打神田。死球で出塁した神田に代わり、田端が代走で再出場。

3回裏、上野は投手で再出場。代走の田端が再び三塁の守備につく。

5回表、上野と田端が打席に入る。

守備交代で再出場した上野(#27)が打席に入る場合、縦波線と選手のユニフォームナンバーを、#記号で記入する。

代走で再出場した田端(#15)が打席に入る場合、波線なしで選手のユニフォームナンバーを、#記号で記入する。

位置	山手高校	No		3	4	5
①	上野	27	H	6		#27
H	品川	25				
		6				
5 (R) 5	田端	15	H	D		#15
H	神田	13				
		7				

2 守備の交代が行われたとき

① 単純な守備の交代

3回裏、山手高校の二塁手、目白から駒込(#61)に交代。

先攻チーム (自チーム) の攻撃記帳欄

後攻チームの攻撃記帳欄

位置	山手高校	No
4	目白	37
4	駒込	61

3
5-3
I

3
(4) # 6 1
交代記録欄

② 攻撃時に代打が出場した場合

(1) 目白に代わり、代打駒込(#61)。その回の裏、駒込が二塁の守備につく。

先攻チーム (自チーム) の攻撃記帳欄			後攻チームの攻撃記帳欄			
位置	山手高校	No	3			
4	目白	37	H	5-3	I	3
H 4	駒込	61				
						交代記録欄

(2) 目白に代わり、代打駒込(#61)。その回の裏、目白が再出場し二塁の守備につく。

先攻チーム (自チーム) の攻撃記帳欄			後攻チームの攻撃記帳欄			
位置	山手高校	No	3			
④	目白	37	H	5-3	I	3
H	駒込	61				
						交代記録欄

(3) 目白に代わり、代打駒込(#61)。その回の裏、品川(#25)が二塁の守備につく。

先攻チーム (自チーム) の攻撃記帳欄			後攻チームの攻撃記帳欄			
位置	山手高校	No	3			
4	目白	37	H	5-3	I	3
H	駒込	61				
4	品川	25				
						交代記録欄

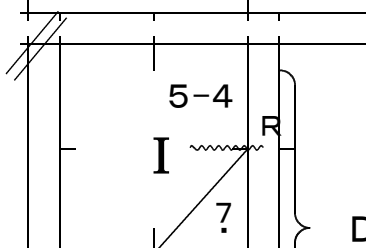
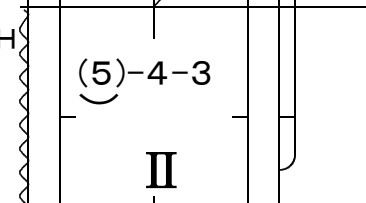
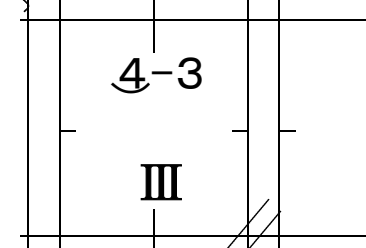
(4)

神田が退きサードの田端が再出場、センターの渋谷が投手に、
品川に代わってセンターに蒲田(#19)が入る

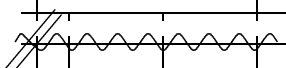
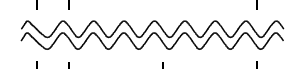
交代の記号・・・交代の時期に  、サードが再出場 → ⑤#15、

センターが投手に → (8)-(1)、センターに蒲田が → (1)-(8)#19

先攻チーム (自チーム) の攻撃記帳欄

位置	山手高校	No	3	
1	上野	27		DP
R	品川	25		
8	蒲田	19		
⑤	田端	15		DP
H	神田	13		
8 1	渋谷	10		

後攻チームの攻撃記帳欄

3	
交代記録欄	
	
	⑤ # 1 5 (8) - (1) (1) - (8) # 1 9

第5章 総合実習

問題 次の試合を次ページからのスコアカードに記帳しなさい

※ 投球カウントは次のように表示してあります。(S ストライク、B ボール、F ファウルボール)

1回表 南北高校の攻撃

- 1番 B B S F の後、空振りの三振(一死)。
- 2番 初球 三遊間安打で出塁。
- 3番 B S B の後、一塁前にバント。一塁手が一塁カバーの二塁手に送球、打者走者アウト(二死)。一塁走者は二塁に進塁。
- 4番 S F の後、三塁ゴロ。三塁手が二塁走者にタッチしてアウト(三死)。

1回裏 東西高校の攻撃

- 1番 S の後、三遊間突破安打で一塁に出塁。
- 2番 初球、不正投球(B)。一塁走者は二塁に進塁。その後、三塁ゴロを一塁手に送球し打者走者アウト(一死)。二塁走者は進塁できない。
- 3番 B B の後、右翼飛球(二死)。二塁走者は三塁に進塁。
- 4番 S の後、遊撃ゴロ。遊撃手が本塁に送球するものの、野手選択となり三塁走者得点。打者走者一塁に出塁。4番に打点、得点は投手の自責点。
- 5番 初球、遊撃ゴロ。遊撃手が二塁手に送球し一塁走者封殺(三死)。(注)5番打者は残塁。

2回表 南北高校の攻撃

- 5番 S B S F B F B の後、四球で出塁。
- 6番 S B B の後、投手へのバント。投手が二塁に入った遊撃手に送球し一塁走者を封殺(一死)。打者走者は一塁走者に残る。一塁走者に 矢田加代(#14)が代走。
- 7番 代打 吉岡康代(#22)左打者。B の後、右翼手右への二塁打。一塁走者得点。吉岡に打点。得点は投手の自責点。
- 8番 B このとき、暴投。二塁走者は三塁に進塁。その後、遊撃手へのゴロ。一塁手に送球、アウト(二死)。三塁走者得点。8番に打点。得点は投手の自責点。
- 9番 S B の後、捕手のミットがバットに触れ、打撃妨害で出塁。
- 1番 F S の後、空振りの三振。捕手が捕球できず、一塁手に送球しアウト(三死)。

南北高校の守備交代 代走の矢田が退き、一塁手に福山が再出場。捕手に代打の吉岡(#22)が入る。

2回裏 東西高校の攻撃

- 6番 B B の後、一塁手へのバント安打で出塁。
- 7番 B の後、三塁ゴロ。三塁手が一塁カバーの二塁手に送球するが、二塁手が落球(失策)して走者一・二塁。
- 8番 初球、三塁手へのインフィールドフライでアウト(一死)。
- 9番 S S の後、三塁手へのゴロ。二塁手に送球し一塁走者アウト。(二死)一塁手に転送され、打者走者もアウト(三死)。併殺。

先 攻

補 殺	刺 殺	失 策	左: ○: 位 置	南北高校 中山里沙子	No.	1	2	3
			○:8	中山里沙子	9			
					1			
			○:6	鈴木 真美	6			
					2			
			・:5	谷中 優実	7			
					3			
			・:DP	奥山 由香	3			
					4			
			・:7	田村 千尋	8			
					5			
			・:3	福山あゆみ	2			
					6			
			2	佐藤 千夏	10			
					7			
			・:4	関口 桂	11			
					8			
			・:9	斎藤奈津子	5			
					9			
			1	吉田紀代子	18			

後 攻

補殺	刺殺	失策	左: 位置	東西高校	No.	1	2	3
		○	5	清水 亜紀子	2			
					1			
		○	3	田中 友美	4			
					2			
		○	8	石田 千恵	8			
					3			
		○	DP	鈴木 麻理	6			
					4			
		○	2	溝端 里江	1			
					5			
		○	4	松本 佑沙	7			
					6			
		・	7	山岸 恵利	5			
					7			
		・	9	野口 亜弥	3			
					8			
		・	6	若林 一恵	10			
					9			
			1	保泉 範子	18			

第6章 各率の算出法

1. 打撃率

$$\begin{aligned} \text{打数} &= \text{打席数} - (\text{四死球数} + \text{犠牲打数} + \text{打撃妨害} + \text{一塁への走塁妨害}) \\ \text{打撃率} &= \frac{\text{安打数}}{\text{打数}} \quad \text{小数第4位四捨五入 (小数第3位まで表示)} \end{aligned}$$

(例題1)

A選手のある日の打撃成績は次のとおりである。

四球、 遊撃ゴロアウト、 一塁犠牲バント、
二塁ゴロ失策、 中堅飛球アウト、 三塁バント安打
この日のA選手の次の数・率を求めなさい。

- ①打席数 () ②安打数 () ③打数 ()
④打撃率 ()

2. 守備率

$$\begin{aligned} \text{守備率} &= \frac{\text{補殺数} + \text{刺殺数}}{\text{補殺数} + \text{刺殺数} + \text{失策数}} \quad \text{小数第4位四捨五入} \\ &\quad \text{(小数第3位まで表示)} \end{aligned}$$

(例題2)

B三塁手のある日の守備の記録は次のとおりである。

5 - 3 (一死)、5 飛球 (一死)、5 E - 3 (悪送球)、5 - 4 E (落球)
5 - 2 - 5 - 3 - 5 T O (挟殺プレイ・三死)

この日のB三塁手の次の数・率を求めなさい。

- ①失策数 () ②補殺数 () ③刺殺数 ()
④守備率 ()

3. 防御率

$$\begin{aligned} \text{防御率} &= \frac{\text{自責点} \times 7}{\text{投球回数}} \quad \text{小数第3位四捨五入 (小数第2位まで表示)} \\ &\quad \text{投球回数は1 / 3まで算出する} \end{aligned}$$

(例題3)

C投手のある日の投手成績は次のとおりである。

投球回数 6回、自責点 3点

C投手のこの日の防御率を求めなさい。

(例題 4)

D 投手のある日の投手成績は次のとおりである。

投球回数 5 回 1 / 3、自責点 2 点

D 投手のこの日の防御率を求めなさい。()

4. 出塁数

出塁数 = 安打 + 四死球
打撃妨害 (一塁への走塁妨害) による出塁は、出塁数に含まない。

(例題 5)

チーム X のある試合の打撃集計は次のとおりである。

30 打席、24 打数、10 安打、2 犠牲打、2 四球、1 死球、1 打撃妨害、5 得点
攻撃回数 7 回、タイブレーカーなし

出塁数はいくつ ()

5. スコアカードの検算

- ① チームの打席数 = 打数 + 犠牲打 + 四死球 + 打撃妨害 (一塁への走塁妨害)
- ② チームの打席数 = 得点 + 残塁 + 相手チームプットアウト数 - タイブレーカー走者

(例題 6)

(1) 例題 5 のチーム X の打席数の検算①を行いなさい。

(2) また、検算②の式を用いて、チームの残塁数がいくつになるか求めなさい。

6. 規定打席数

決勝戦までの最少試合数のチーム試合数を A とすると、

規定打席数 = $2.4 \times A$ 小数点以下切り捨て 2.4 は定数

単純なトーナメント戦であれば、参加チーム数が 8~15 であれば A=3、16~31 であれば A=4 となる。

7. 規定投球回数

決勝戦までの最少試合数のチーム試合数を A とすると、

規定投球回数 = $7 / 3 \times A$ 小数点以下切り捨て $7 / 3$ は定数

(例題 7)

決勝戦までの最少試合数のチーム試合数が 5 試合とするとき、規定打席数と規定投球回数を求めなさい。 規定打席数 ()、規定投球回数 ()

(実習)

次のチームの各数値を求めなさい。ただし、試合は7回裏まで行われ、投手は完投した。
また、タイブレーカーは行われなかった。

打席数 = 32	安打 = 6	四球 = 3
死球 = 1	犠牲バント = 2	犠牲飛球 = 1
打撃妨害 = 0	一塁への走塁妨害 = 0	タイブレーカー走者 = 0
得点 = 4	残塁 = 7	自責点 = 3
刺殺 = 21	補殺 = 7	失策 = 3

1 打数 = 打席数 - (四球 + 死球 + 犠牲バント + 犠牲飛球 + 打撃妨害 + 一塁への走塁妨害)

$$= (\quad) - \{ (\quad) + (\quad) + (\quad) + (\quad) + (\quad) + (\quad) \}$$

2 打撃率 = $\frac{\text{安打数}}{\text{打数}} = \frac{(\quad)}{(\quad)} = (\quad)$ 小数第3位まで求める

3 守備率 = $\frac{\text{補殺数} + \text{刺殺数}}{\text{補殺数} + \text{刺殺数} + \text{失策数}} = \frac{(\quad) + (\quad)}{(\quad) + (\quad) + (\quad)}$

$$= \frac{(\quad)}{(\quad)} = (\quad)$$

小数第3位まで求める

4 防御率 = $\frac{\text{自責点} \times 7}{\text{投球回数}} = \frac{(\quad) \times 7}{(\quad)} = (\quad)$

小数第2位まで求める

決勝戦までの最少試合数のチーム試合数 **A** が **3 試合** のとき、規定打席数と規定投球回数を求めなさい

5 規定打席数 = $2.4 \times A = 2.4 \times (\quad) = (\quad)$
規定打席数 = (\quad) 打席 小数点以下切り捨て

6 規定投球回数を求めなさい

$$\text{規定投球回数} = \frac{7 \times A}{3} = \frac{7 \times (\quad)}{3} = (\quad)$$

規定投球回数 = (\quad) 回 小数点以下切り捨て

【総合実習解答】

先 攻

補殺	刺殺	失策	左: 位置	南北高校	No.	1	2	3
			○:8	中山里沙子	9	K ⁺ I	K ⁺ 2-3 III	
				1				
			○:6	鈴木 真美	6	5TO (3) III		
				2		5-6		
			・:5	谷中 優実	7	◇3-4 II		
				3				
			・:DP	奥山 由香	3	Q 5-		
				4				
			・:7	田村 千尋	8		1-6 I B	
				5				
			・:③ R	福山あゆみ 矢田 加代	2 14		⑦ ⑧ 1- R	
				6				
			2 ○:H2	佐藤 千夏 吉岡 康代	10 22	H	WP' ⑧ 9.	
				7				
			・:4	関口 桂	11		'6-3 II	
				8				
			・:9	斎藤奈津子	5		Q △2E	
				9				
			1	吉田紀代子	18			

各率の算出法 解答

(例題 1) ①打席数 6 ②安打数 1 ③打数 4 ④打撃率 0.250

(例題 2) ①失策数 1 ②補殺数 3 ③刺殺数 2 ④守備率 0.833

(例題 3) C 投手の防御率 3.50

(例題 4) D 投手の防御率 2.63

(例題 5) 出塁数 13

(例題 6) (1) $30 = 24 + 2 + 2 + 1 + 1$

(2) $30 = 5 + \text{残塁数} + 21 - 0$ 残塁数 = $30 - 5 - 21 = 4$

(例題 7) 規定打席数 12、規定投球回数 11

(実習)

$$1 \text{ 打数} = (32) - \{(3) + (1) + (2) + (1) + (0) + (0)\} = 25$$

$$2 \text{ 打撃率} = \frac{6}{25} = 0.240$$

$$3 \text{ 守備率} = \frac{7 + 21}{7 + 21 + 3} = \frac{28}{31} = 0.903$$

$$4 \text{ 防御率} = \frac{3 \times 7}{7} = 3.00$$

$$5 \text{ 規定打席数} = 2.4 \times A = 2.4 \times 3 = 7.2 \quad \text{規定打席数} = 7 \text{ 打席}$$

$$6 \text{ 規定投球回数} = \frac{7 \times 3}{3} = 7 \quad \text{規定投球回数} = 7 \text{ 回}$$

付録 ソフトボール記録ルール問題

◎ 正しければ○、誤りがあれば×で答えなさい。

1. () 一死二塁。打者のAはライトへ大きな飛球。二塁走者はタッチアップして悠々と三塁に達したため、Aの打球を犠牲飛球とした。
2. () 一死走者三塁。この回これまで失策はなかった。打者Bの打球は遊撃手へのゴロ。本塁への送球が間に合わないと見た遊撃手の送球を一塁手が落球（失策）し、Bは一塁に生き、三塁走者が得点。この得点は非自責点とした。
3. () Cの打球はワンバウンドして右翼手が捕球。タイミングは余裕でアウトと思われたが、右翼手の一塁への悪送球のため、Cは一塁に生きた。この右翼手のプレイに失策をつけた。
4. () 一塁走者が二塁を狙って走る。タイミングはアウトと思われたが、捕手の悪送球で球はセンターに抜ける。それを見た走者はさらに三塁を狙ったが、思い直し二塁にとどまった。捕手のプレーに失策をつけた。
5. () 一死一三塁。一塁走者が盗塁を試みたので捕手は遊撃手に送球。それを見た三塁走者は本塁に突入するが遊撃手からの返球で本塁直前タッチアウト。一塁走者の二塁盗塁のみを記録した。
6. () 深いレフトの打球を見た打者走者Aは、一塁を走り越し二塁に向かった。打球を処理した左翼手は二塁手へ送球、打者走者は滑り込んだが二塁をオーバースライドしたところでタッチアウト。Aに二塁打を記録し、7-4 TOと記帳した。
7. () 同点で迎えた7回裏、一死三塁で打球は二塁ゴロ。打球を処理した二塁手は本塁に送球したが、間一髪ホームイン。一塁に送球すればアウトにできたと判断したので二塁手に野手選択を記録した。
8. () 同点で迎えた7回裏、一死満塁で右翼手を越す打球。走者一掃となり打者走者は三塁まで達したので3得点、打者には三塁打を記録した。
9. () 2ストライクの後、バットをかすった打球をボディプロテクタに当たってから地面に落ちないで捕球した。ファウルチップなので三振と記録した。

10. () 無死三塁、レフトフライの打球を左翼手が弾き、地面に落ちる前にカバーにまわった中堅手が捕球した。三塁走者は左翼手が弾いた時点で三塁をタッチアップしたので、三塁手は走者の離塁が速いとアピール。併殺を記録した。
11. () 暴投は投手の失策となる。
12. () 押し出しの四球を選び走者が得点したとき、打者には打点を与える。
13. () 打撃率は、安打数÷打席数によって求められる。
14. () 四球、死球、犠牲打は打数に数えないが、打撃妨害は打数に入る。
15. () 野手選択による得点には打点を与えない。
16. () 無死満塁で6－4－3の併殺の間に1点が入った。このときの打者には打点を与えない。
17. () 1人の投手が無失点で、タイブレーカーによる走者以外の出塁がなく勝利した。この場合、完全試合になる。
18. () (7回まで試合が行われたとき) 先発投手は3回2／3まで投球を完了しないと勝利投手になることはできない。
19. () 三塁手がゴロを捕球して一塁手に送球したが、一塁手の落球失策により打者走者がセーフになった。このときは三塁手に補殺を与えられない。
20. () 二塁走者の離塁アウトのとき、走者にもっとも近かった野手の遊撃手に刺殺を与えた。
21. () 一塁で離塁アウトがあったのでそのときの投球を取り消し、3 T Oと記録した。
22. () 三塁と本塁の間で走路を大きくはずれた走者にラインアウトが宣告された。触球しようとしていた投手に刺殺を与え、1 T Oを記録した。
23. () 二塁をまわった付近で前位の走者を追い越した走者について、そのとき最も近かった遊撃手に刺殺を与え、6 T Oと記録した。

24. () 一塁セーフの打者走者がアウトと勘違いしてベンチに戻ったので、一塁手に刺殺を与え、3TOと記録した。
25. () 四球で一塁までの安全進塁権を得た打者走者が一塁に向かわないでベンチに戻ったので捕手に刺殺を与え、2TOと記録した。
26. () 打者Aは1ストライクでBに交代。Bは3ボール2ストライクのカウントでCに交代した。Cは3球ファウルで粘ったが結局三振した。三振はCに記録される。
27. () 本塁打を打った打者には常に打点が与えられる。
28. () 三塁ファウル飛球を捕球した後、三塁手が場外に出て三塁走者のホームインが認められたので、打者には犠牲飛球を記録した。
29. () 一死一塁で三塁前にバント。三塁手が二塁に送球したところ走者は二塁をオーバースライドしてタッチアウト。打者に犠牲バントは記録しない。
30. () 捕手の打撃妨害があったので、ボックスに▲2と記帳した。
31. () DPの交代については、必ずしも通告しなくても無通告交代とならない。
32. () DPとFPが二人同時に試合に出場するのでなければ、DPが守備のみのプレイをすることができる場合がある。
33. () 打順表の書き間違いでユニフォームナンバーの記入誤りの選手が出場していたが、チームから訂正があったので登録用紙と確認照合したのち、打順表とスコアカードのユニフォームナンバーを訂正して試合を続行した。
34. () チームから打順表の控え選手に追加するように求められた選手は、登録されているメンバーなので試合の途中であっても認められる。
35. () 両チーム無得点で迎えた6回裏、先発投手のAに代わって出場したBが本塁打。7回は、B投手がこの1点を守りきりチームは勝利した。記録員はAを勝利投手とした。
36. () 初回、1番打者のCは投手の失策で出塁。続く2番打者の二塁打でCがホーム

インした。その後3人の打者は凡退。得点は投手の責任によるものなので自責点とする。

37. () 初回、先頭打者のDは死球で出塁。続く2番打者のとき暴投で二塁へ進塁。2番打者の二塁打でDがホームインした。その後3人の打者は凡退。この得点は自責点とする。
38. () 初回、先頭打者のEは安打で出塁。2番打者のとき捕逸で二塁へ進塁。2番打者の三塁打でEがホームインした。その後3人の打者は凡退。この得点は自責点とする。
39. () 相手チームの出場選手が登録してある選手ではないと、もう一方のチームの監督から抗議を受けた審判員は、ゲームセット直後であったので抗議を受け入れた。
40. () 一死で2番打者の打席のとき3番打者が打席に立ち、死球で出塁した。その直後、打順誤りのアピールがあったので、2番打者をアウトにし次打者を3番打者とした。
41. () 一死で2番打者の打席のとき3番打者が三振した。この直後、打順誤りのアピールがあったので、ダブルプレイが成立した。
42. () 一死で2番打者の打席のとき3番打者が打席に立ち、打撃は三塁ゴロであった。三塁手が一塁に送球したところ一塁手が落球し、打者走者は一塁セーフ。この直後、打順誤りのアピールがあったので正位打者をアウトにしたが、一塁手の失策はそのまま記録された。
43. () 二死で3番打者の打席のとき、4番打者が打席に立ち三振した。その直後アピールがあったので正位打者をアウトにし、次の回は4番打者からの打席とした。
44. () 無死一二塁、打者のバント飛球が内野フライとなった。審判員はインフィールドフライの宣告をおこなった。
45. () 無死一塁、ライトへの浅い飛球を走者が一二塁間で様子を窺っていたとき、打者走者は一塁を回ったところにいた。打球はライト前に落ち、右翼手が二塁に送球したところ悪送球となり球は場外に出た（オーバースロー）。2個の安全進塁権を与え、無死二三塁で試合を再開した。

46. () 無死三塁、バントに備えて三塁手は前進守備をしていた。フェアの強い打球は三塁上にいた走者に当たり、レフト前を転々とした。打球当たりの走者をアウト、打者走者には安打を記録した。
47. () 一死一二塁で、打球は容易に捕球できる一塁ファウルフライ。コーチズボックス内にいた一塁ベースコーチが、飛球を捕球しようとした一塁手と衝突し落球したので二塁走者をアウトにした。
48. () 三塁コーチズボックス内のベースコーチがスコアブックと筆記用具を持ち込んでいたので、審判員はスコアブックを持ち込まないように指示した。
49. () 無死一塁、カウント3ボール2ストライク。一塁審判が走者の離塁アウトを宣告をしたとき球審は不正投球を宣告した。不正投球を取り消し、一死走者なしから試合を再開した。
50. () ショートゴロを遊撃手が一塁に悪送球して球は場外へ。打者走者は2個の安全進塁権を得ていったん二塁に達したが、一塁を空過したことに気づきボールデッド中に一塁を踏み直してから二塁に戻った。しかし、相手チームのアピールによりアウトとなった。

ソフトボール記録ルール問題解答

1. 一死二塁。打者のAはライトへ大きな飛球。二塁走者はタッチアップして悠々と三塁に達したため、Aの打球を犠牲飛球とした。

解答・・・(×)

犠牲飛球は無死または一死で、打者が捕球された飛球(失策を含む)で走者を得点させたときに記録される。

2. 一死走者三塁。この回これまで失策はなかった。打者Bの打球は遊撃手へのゴロ。本塁への送球が間に合わないと見た遊撃手の送球を一塁手が落球(失策)し、Bは一塁に生き、三塁走者が得点。この得点は非自責点とした。

解答・・・(×)

遊撃手は本塁へ投げても間に合わないので一塁に送球したのであるから、一塁手の失策があっても得点は自責点となる。

3. Cの打球はワンバウンドして右翼手が捕球。タイミングは余裕でアウトと思われたが、右翼手の一塁への悪送球のため、Cは一塁に生きた。この右翼手のプレイに失策をつけた。

解答・・・(×)

外野へのフェアの打球を、外野手が一塁に悪送球しても打者には安打を記録する。

4. 一塁走者が二塁を狙って走る。タイミングはアウトと思われたが、捕手の悪送球で球はセンターに抜ける。それを見た走者はさらに三塁を狙ったが、思い直し二塁にとどまった。捕手のプレーに失策をつけた。

解答・・・(×)

捕手が盗塁を阻止しようとして投げた送球が悪送球となっても、走者がさらに進塁できなければ失

策は記録しない。

5. 一死一三塁。一塁走者が盗塁を試みたので捕手は遊撃手に送球。それを見た三塁走者は本塁に突入するが遊撃手からの返球で本塁直前タッチアウト。一塁走者の二塁盗塁のみを記録した。

解答・・・(×)

ダブルスチールを試みたとき、一方の走者がアウトになれば他の走者の盗塁は記録しない。

6. 深いレフトの打球を見た打者走者Aは、一塁を走り越し二塁に向かった。打球を処理した左翼手は二塁手へ送球、打者走者は滑り込んだが二塁をオーバースライドしたところでタッチアウト。Aに二塁打を記録し、7-4TOと記帳した。

解答・・・(×)

打者が塁数を伸ばそうと試み、オーバースライドしてタッチアウトされた場合は、その塁を得たことにはならない。

7. 同点で迎えた7回裏、一死三塁で打球は二塁ゴロ。打球を処理した二塁手は本塁に送球したが、間一髪ホームイン。一塁に送球すればアウトにできたと判断したので二塁手に野手選択を記録した。

サヨナラゲームにつながる場合では、たとえ一塁でアウトにできるタイミングであっても、野手には本塁に投げるしか選択の余地はないため、安打を記録する。

8. 同点で迎えた7回裏、一死満塁で右翼手を越す打球。走者一掃となり打者走者は三塁まで達したので3得点、打者には三塁打を記録した。

解答・・・(×)

最終回、サヨナラ安打の場合はフェンス越えの

本塁打以外では勝利を決定するのに必要なだけの塁数の塁打を打者に与える。

9. 2ストライクの後、バットをかすった打球をボディプロテクタに当たってから地面に落ちないで捕球した。ファウルチップなので三振と記録した。

解答・・・(×)

打球がまず捕手のミット(グラブ)・手に直接触れなければファウルチップにはならない。

10. 無死三塁、レフトフライの打球を左翼手が弾き、地面に落ちる前にカバーにまわった中堅手が捕球した。三塁走者は左翼手が弾いた時点で三塁をタッチアップしたので、三塁手は走者の離塁が速いとアピール。併殺を記録した。

解答・・・(×)

タッチアップは飛球が野手に触れた後にスタートを起こすことができる。

11. 暴投は投手の失策となる。

解答・・・(×)

暴投に関するときは失策とならない。

12. 押し出しの四球を選び走者が得点したとき、打者には打点を与える。

解答・・・(○)

走者満塁で安全進塁権を与えられ走者が得点したとき、打者には打点を与える。

13. 打撃率は、安打数÷打席数によって求められる。

解答・・・(×)

打撃率＝安打数÷打数

14. 四球、死球、犠牲打は打数に数えないが、打撃妨害は打数に入る。

解答・・・(×)

打席数＝打数＋四死球＋犠牲打＋打撃妨害
＋一塁への走塁妨害

15. 野手選択による得点には打点は与えない。

解答・・・(×)

野手選択による得点にも打点が記録される。

16. 無死満塁で6-4-3の併殺の間に1点が入った。このときの打者には打点は与えない。

解答・・・(○)

フォースダブルプレイまたはリバースフォースダブルプレイとなるゴロを打った場合には打点は与えられない。

17. 1人の投手が無失点で、タイブレーカーによる走者以外の出塁がなく勝利した。この場合、完全試合になる。

解答・・・(×)

タイブレーカーの走者が出たならば、完全試合にはならない。

18. (7回まで試合が行われたとき)先発投手は3回2/3まで投球を完了しないと勝利投手になることはできない。

解答・・・(×)

先発投手は少なくとも4回まで投球を完了することが、勝利投手の条件である。

19. 三塁手がゴロを捕球して一塁手に送球したが、一塁手の落球失策により打者走者がセーフになった。このときは三塁手に補殺を与えられない。

解答・・・(×)

送球した野手が自チームのプレイヤーの失策がなければ走者をアウトにできたと判断できる場合には補殺を記録する。

20. 二塁走者の離塁アウトのとき、走者にもっとも近

かった野手の遊撃手に刺殺を与えた。

解答・・・(×)

各塁の離塁アウトは各塁手に刺殺が記録される。

21. 一塁で離塁アウトがあったのでそのときの投球を取り消し、3TOと記録した。

解答・・・(×)

離塁アウトの統一記号はROである。

22. 三塁と本塁の間で走路を大きくはずれた走者にラインアウトが宣告された。触球しようとしていた投手に刺殺を与え、1TOを記録した。

解答・・・(○)

走者が野手の触球を避けようと、走路をはずれてアウトになったときは近くの野手に刺殺を与える。

23. 二塁をまわった付近で前位の走者を追い越した走者について、そのとき最も近かった遊撃手に刺殺を与え、6TOと記録した。

解答・・・(○)

前位の走者を追い越したときは、最も近かった野手に刺殺を与える。

24. 一塁セーフの打者走者がアウトと勘違いしてベンチに戻ったので、一塁手に刺殺を与え、3TOと記録した。

解答・・・(○)

一塁セーフの打者走者がアウトと勘違いしてベンチに戻ったときは、一塁手に刺殺を与える。

25. 四球で一塁までの安全進塁権を得た打者走者が一塁に向かわないでベンチに戻ったので捕手に刺殺を与え、2TOと記録した。

解答・・・(×)

四球で一塁までの安全進塁権を得た打者走者が一塁に向かわないでベンチに戻ったとき、守備妨

害とし捕手に刺殺を与える。

26. 打者Aは1ストライクでBに交代。Bは3ボール2ストライクのカウントでCに交代した。Cは3球ファウルで粘ったが結局三振した。三振はCに記録される。

解答・・・(×)

3人が交代し三振となった場合は、2ストライク目の打者に記録する。

27. 本塁打を打った打者には常に打点が与えられる。

解答・・・(○)

打点(ランバッテッドイン)とは、次の理由の一つで記録される得点である。

1. 安打。
2. 犠牲バントあるいは犠牲フライ。
3. 内野のアウトあるいは野手選択。
4. 捕球されたファウルフライ。
5. 走者満塁で打撃妨害、走塁妨害あるいは死球または四球で打者が安全進塁権を与えられ、走者が得点したとき。
6. 本塁打で記録されたすべての得点。

28. 三塁ファウル飛球を捕球した後、三塁手が場外に出て三塁走者のホームインが認められたので、打者には犠牲飛球を記録した。

解答・・・(×)

内野地域の飛球で捕球後場外で三塁走者の得点の場合は、犠牲打とせず打点も与えないが失策とはしない。

29. 一死一塁で三塁前にバント。三塁手が二塁に送球したところ走者は二塁をオーバースライドしてタッチアウト。打者に犠牲バントは記録しない。

解答・・・(×)

打撃にともなうオーバースライドはその塁を得

たものと見なす。

30. 捕手の打撃妨害があったので、ボックスに▲2と記帳した。

解答・・・(×)

捕手の打撃妨害で出塁した場合は、捕手に失策を記録し△2Eと記帳する。

31. DPの交代については、必ずしも通告しなくても無通告交代とならない。

解答・・・(×)

選手が交代する場合は、必ず通告する必要がある。

32. DPとFPが二人同時に試合に出場するのでなければ、DPが守備のみのプレイをすることができる場合がある。

解答・・・(×)

DPが守備のみ、FPが打撃のみのプレイをすることはできない。

33. 打順表の書き間違いでユニフォームナンバーの記入誤りの選手が出場していたが、チームから訂正があったので登録用紙と確認照合したのち、打順表とスコアカードのユニフォームナンバーを訂正して試合を続行した。

解答・・・(○)

打順表には、チーム名、守備位置、氏名、ユニフォームナンバーを記入する。

試合開始後、ユニフォームナンバーの記入誤りが発見されたときは、訂正して試合を続行すればよい。

34. チームから打順表の控え選手に追加するように求められた選手は、登録されているメンバーなので試合の途中であっても認められる。

解答・・・(×)

打順表に記載されていない選手は、ベンチに入ることも試合に出場することもできない。

35. 両チーム無得点で迎えた6回裏、先発投手のAに代わって出場したBが本塁打。7回は、B投手がこの1点を守りきりチームは勝利した。記録員はAを勝利投手とした。

解答・・・(○)

投手が退いた回に得点してリードし、そのリードが最後まで維持されたときは、この得点はその投手が任務中に得たものと記録する。

36. 初回、1番打者のCは投手の失策で出塁。続く2番打者の二塁打でCがホームインした。その後3人の打者は凡退。得点は投手の責任によるもので自責点とする。

解答・・・(×)

野手の失策により出塁した走者は自責点の対象にならない。投手の守備上の失策は他の野手と同様に扱う。

37. 初回、先頭打者のDは死球で出塁。続く2番打者のとき暴投で二塁へ進塁。2番打者の二塁打でDがホームインした。その後3人の打者は凡退。この得点は自責点とする。

解答・・・(○)

死球での出塁、暴投・安打での進塁は自責点の対象となる。

38. 初回、先頭打者のEは安打で出塁。2番打者のとき捕逸で二塁へ進塁。2番打者の三塁打でEがホームインした。その後3人の打者は凡退。この得点は自責点とする。

解答・・・(○)

捕逸による進塁は自責点対象となる進塁ではないが、捕逸による二塁への進塁がなくても本塁を得て得点できたと考えられるので自責点の対象とな

る。

39. 相手チームの出場選手が登録してある選手ではないと、もう一方のチームの監督から抗議を受けた審判員は、ゲームセット直後であったので抗議を受け入れた。

解答・・・(○)

抗議に関する意図の通告は、次の投球動作に入るまでか、守備者の全員がフェア地域を離れるまでに、速やかになさなければならない。ただし、「チームメンバーの適格性」はそのチームの次の試合が開始される前まで抗議することができる。

40. 一死で2番打者の打席のとき3番打者が打席に立ち、死球で出塁した。その直後、打順誤りのアピールがあったので、2番打者をアウトにし次打者を3番打者とした。

解答・・・(○)

不正位打者の打撃が完了し、次の打者に対して投球動作に入る前に打撃の誤りをアピールされたときは、

1) 不正位打者の打撃によるか、その打者が失策・四球・死球などで出塁したことによる走者の進塁および得点は全て取り消される。ただし、違反発見前のアウトは取り消されない。

2) 打順を抜かされた正位打者がアウトになる。

3) 次の打者は、打順誤りのためにアウトを宣告された打者の次の打順の者である。ただし、次打者不正位打者でアウトになった打者のときは、さらに次の打順の者になる。

4) 打順誤りのアピールで第3アウトが成立したとき、次の回の先頭打者は打順を抜かされてアウトになった打者の次の打順の者である。

41. 一死で2番打者の打席のとき3番打者が三振した。この直後、打順誤りのアピールがあったので、ダブルプレイが成立した。

解答・・・(○)

打順を抜かされた正位打者がアウトになり、また違反発見前のアウトは取り消されない。

42. 一死で2番打者の打席のとき3番打者が打席に立ち、打撃は三塁ゴロであった。三塁手が一塁に送球したところ一塁手が落球し、打者走者は一塁セーフ。この直後、打順誤りのアピールがあったので正位打者をアウトにしたが、一塁手の失策はそのまま記録された。

解答・・・(×)

打順誤りのアピールによりアウトになれば、不正位打者の打撃による安打、失策等は全て取り消される。

43. 二死で3番打者の打席のとき、4番打者が打席に立ち三振した。その直後アピールがあったので正位打者をアウトにし、次の回は4番打者からの打席とした。

解答・・・(○)

打順誤りのアピールで第3アウトが成立したとき、次の回の先頭打者は打順を抜かされてアウトになった打者の次の打順の者である。

44. 無死一二塁、打者のバント飛球が内野フライとなった。審判員はインフィールドフライの宣告をおこなった。

解答・・・(×)

インフィールドフライとは、無死または一死で、走者一・二塁もしくは満塁で、打者が内野に打ち上げた飛球で(ラインドライブ、バント飛球は除く)、野手が容易に守備できる飛球のことをいう。

45. 無死一塁、ライトへの浅い飛球を走者が一二塁間で様子を窺っていたとき、打者走者は一塁を回ったところにいた。打球はライト前に落ち、右翼手が二塁に送球したところ悪送球となり球は場外に出た

(オーバースロー)。2個の安全進塁権を与え、無死二三塁で試合を再開した。

解答・・・(○)

インプレイの送球がブロックボールまたはオーバースローになったとき、ボールデッドで野手の手から球が離れた時の走者の位置から、2個の安全進塁権が与えられる。同一塁間に2人の走者がいたときは、前位の走者の位置が基準になる。

46. 無死三塁、バントに備えて三塁手は前進守備をしていた。フェアの強い打球は三塁上にいた走者に当たり、レフト前を転々とした。打球当たりの走者をアウト、打者走者には安打を記録した。

解答・・・(×)

触塁中に走者にフェアボールが触れたときは

(1) 守備者が塁より前方で守備しているとき触れた場合は、ボールインプレイ。

(2) 守備者が塁より後方で守備しているとき触れた場合は、ボールデッドで、その走者はアウトではなく、打者走者には一塁への安全進塁権が与えられ、他の走者は投球時に占めていた塁に戻らなければならない。(フォースの場合を除く)

47. 一死一二塁で、打球は容易に捕球できる一塁ファウルフライ。コーチズボックス内にいた一塁ベースコーチが、飛球を捕球しようとした一塁手と衝突し落球したので二塁走者をアウトにした。

解答・・・(○)

攻撃側のメンバーが、野手がファウル飛球を捕球しようとしているのを妨害したとき

(注1) 走者がいる場合は、打者走者をアウトにしないで、本塁にもっとも近い走者がアウトになる。

(注2) 走者が妨害した場合はその走者がアウト

になる。

(注1、注2とも打者はファウルボールとして打撃を継続する)

48. 三塁コーチズボックス内のベースコーチがスコアブックと筆記用具を持ち込んでいたので、審判員はスコアブックを持ち込まないように指示した。

解答・・・(×)

ベースコーチの1人は、コーチズボックス内にスコアブックと筆記用具を持ち込んでもよい。

49. 無死一塁、カウント3ボール2ストライク。一塁審判が走者の離塁アウトを宣告をしたとき球審は不正投球を宣告した。不正投球を取り消し、一死走者なしから試合を再開した。

解答・・・(×)

「不正投球」の宣告と「離塁違反」の宣告がほぼ同時であったときは「不正投球」を適用する。

50. ショートゴロを遊撃手が一塁に悪送球して球は場外へ。打者走者は2個の安全進塁権を得ていったん二塁に達したが、一塁を空過したことに気づきボールデッド中に一塁を踏み直してから二塁に戻った。しかし、相手チームのアピールによりアウトとなった。

解答・・・(×)

塁を空過したした走者やタッチアップの早過ぎた走者が次の塁に達してボールデッドになっても、空過した塁や タッチアップの早過ぎた塁に戻って触れ直す事ができる。ただし、ボールインプレー中、ボールデッド中を問わず、ベンチに入ったり、境界線外に出た走者は、空過した塁やタッチアップの早過ぎた塁に戻って触れ直すことはできない。

平成25年度

第1種公式記録員 認定ルール考査問題 解答

受験番号 () 府県名 () 氏名 ()

次の文章で正しいものに○、間違っているものに×を () 内に記入しなさい。

- 1 (×) 5回表、先頭打者・4番Aが安打で出塁後、代走Bに交代。その裏、代走Bに代わり、Aが無通告で守備についた。副審に確認し、アピールを待ったが、攻撃側チームからアピールはなかった。
- 2 (○) 一死走者三塁。バントを処理した三塁手は三塁走者をうかがったため、一瞬遅れて一塁に送球した。しかし、打者は間一髪セーフとなった。打者には安打を与える。
- 3 (×) 無死走者二塁。レフト前に小飛球が上がったため、二塁走者のスタートが遅れ、三塁直前でタッチアウトとなった。打者に安打は記録しない。
- 4 (○) 同点で迎えた7回裏、走者二塁。右中間へサヨナラ安打を放った打者走者は二塁を踏んだ。二塁打を与える。
- 5 (×) 無死一塁。サード前のバントを二塁に送球したがボールがそれたためセーフとなった。打者には犠打失策による出塁と記録する。
- 6 (×) 二死走者三塁。打者はライト後方へフライを打ち上げた。右翼手はこのフライを落球(失策)した。捕球したとしても三塁走者は生還することができたと判断すれば、打者に犠打と打点を記録する。
- 7 (×) 無死走者一・三塁。一塁ゴロでベースタッチをした後、二塁に転送し一塁走者をタッチアウト。三塁走者は本塁を踏んだので打点を与える。
- 8 (×) 7回裏、同点。無死二三塁、カウント2-0となったところで、捕手が故意四球を通告した。この打者の投球数は2球である。
- 9 (○) 一塁走者が盗塁を試みたが、三塁が空いていたので一気に三塁まで進塁した。盗塁2を記録する。
- 10 (×) 二塁走者が打球に当たりアウトとなった。二塁手に刺殺を与える。
- 11 (○) 強い当たりのライナーに投手はグラブを弾かれたが、そのボールを二塁手が地面に落ちる前に捕球しアウトとなった。投手に補殺を与える。
- 12 (○) 三塁ゴロを一塁に好送球したが、一塁手がオレンジベースを踏んでいたためセーフとなった。一塁手に失策を記録する。
- 13 (○) 走者一塁。三塁ゴロを二塁に送球し、一塁走者アウト。二塁手からの送球が逸れ、打者走者は二塁まで進塁した。打者には内野ゴロによる出塁と、悪送球による二塁進塁を記録した。
- 14 (○) 無死二三塁。次打者のカウント0-2後、空振りしたワンバンの投球がバックネットまでころがり、跳ね返ってきたボールを捕手が拾って投手にトス、突入してきた三塁走者をタッチアウトした。打者に三振を記録し、投手にも暴投を記録し

た。

- 15 (○) 三振目の投球が捕逸となったため打者走者は一塁に生きた。続く打者の長打で生還したが、この失点は自責点とならない。
- 16 (×) 一死。2番打者は三塁打。3番打者の遊撃ゴロで本塁に突入したが、捕手が遊撃手からの送球を落球したためセーフ。4番は中前打。5番・6番は三振に倒れた。この回の得点は自責点である。
- 17 (○) 同点で迎えた5回表、4番打者が本塁打し先制。5回裏からB投手に交代し、貴重な1点を守りきった。勝利投手は先発のA投手である。
- 18 (○) 先発投手が1球も投げずに救援投手と交代し、救援投手が7回すべてを投げ抜いて、走者一人も出さずに勝利を収めたので完全試合とした。
- 19 (×) DPは4番打者であったが、再出場するとき5番打者として代打で再出場した。打順誤りである。
- 20 (○) DPがFPの守備を兼ねて試合に出場していた。次にDPに打順が回ってきた時、FPが打席に入ると通告された。この交代は認められるか。
- 21 (×) DPによって守備を奪われたOPに代わり、FPが代打として出場することは可能である。
- 22 (×) 一死一塁。7番の打順で8番打者が打席に入り三塁ゴロ。二塁に送球し一塁走者が封殺された。その直後、アピールがあり正位打者の7番がアウトとなった。次の打者は9番である。
- 23 (×) 降雨のため、4回でノーゲームとなった時、4回までの個人記録は認められる。
- 24 (○) 連続奪三振は、タイブレーカー走者を挟んだとしても記録される。
- 25 (○) 打ち合わせ違反で不正投手となり、ベンチに下がったFPのA投手が、最終回、DPの代打として再出場した。

第2種公式記録員認定会実技対策 実践問題

時間内にボックス作成、集計、そして誤りがないか確認して下さい。

スコアカードを、大会情報、打順表、試合メモ等を参考にして完成させて下さい。

1 大会情報

大会名 第2種公式記録員認定会実技講習実践問題

試合 試合日は、本日の日付として下さい

会場 本日の研修会会場として下さい

天候： 「晴れ」、 風力：なし、 風向：－

審判員・放送員：記入不要

記録員：氏名 記入

試合番号： 記入不要

試験時間：120分

2 打順表 (ラインアップカード)

先攻 大阪クイーンズ (大阪)			
順	位置	選手名	UN
1	8	高橋 貴子	11
2	4	金子 香住	15
3	6	木村 北栄	17
4	3	吉沢 美枝	23
5	DP	本間 蛍	10
6	5	小池 美智子	8
7	9	友部 紀美	4
8	7	桜井 久実	9
9	2	川内 佳子	13
FP	1	嶋田 琴音	27
控選手		朝倉 愛子	7
		井上 泉美	12
		梅田 歌江	16
		江藤 恵子	19

後攻 東京レディース (東京)			
順	位置	選手名	UN
1	3	西川 陽子	5
2	2	荒川 美菜	4
3	6	大塚 祐子	9
4	7	坂本 直子	7
5	4	山本 智代	3
6	8	阿部 千秋	2
7	9	友岡 杏子	6
8	DP	中田 道子	8
9	5	斉藤 好恵	10
FP	1	小川 沖子	18
控選手		門倉 和江	11
		秋山 久子	12
		小出 鈴江	13
		松下 有貴	15

3 試合メモ

S(ストライク)、B(ボール)、F(ファウル)飛：フライ 直：ライナー

邪飛：ファウルフライ

例：BBS 三塁ゴロ→一塁(一死)

2ボール、1ストライク後、三塁ゴロを一塁に送球しアウト(一死)

試合開始時間：問題開始時間

1回表

○高橋 BS 左前安打

○金子 SB 初球を捕逸で一塁走者が二塁進塁、死球

○木村 SBB 初球、一塁走者と二塁走者がダブルスチールで無死二・三塁。

打者席を出て打撃(一死)

吉沢 S 初球、三塁走者離塁アウト(二死)、一塁ゴロ→一塁(三死)

1回裏

○西川 BBB 四球

荒川 BF 三塁前バント→二塁に遊撃手が入る(一死)

○大塚 初球、二塁直(二死)→一塁に送球し飛び出した一塁走者は戻れず
アウト(三死)ダブルプレイ

2回表

本間(#10)に代わり、代打・井上(#12)

井上 BB 遊撃内野安打

○小池 B 三塁前バント→一塁、二塁手が入り(一死)

友部 BS 3球目の投球前に故意四球の通告で一死一二塁。

桜井 BBF 初球が暴投となり、一塁走者・二塁走者がそれぞれ進塁。

一死二・三塁。2球目、捕手が三塁手に送球し三塁走者は

タッチアウト。(二死) 中飛(三死)

2回裏

坂本 BB 二遊間を抜く安打。無死一塁。

○山本 初球バントするも、三塁手への飛球(一死)。一塁走者は動けず。

○阿部 B 中飛をセンターが落球。すぐ拾って二塁に送球し走者アウト(二死)

友岡 BS 中前のゴロ、一塁走者が三塁を狙うもセンター→三塁タッチアウト。

(三死)

3回表

川内 SF 二塁内野安打

○高橋 B 初球が不正投球で一塁走者が二塁進塁。二塁ゴロ→一塁(一死)

二塁走者は三塁に進塁。

○金子 B 捕手の打撃妨害で出塁。

○木村 S 三遊間安打。三塁走者が生還。一塁走者は二塁進塁。

吉沢 BSF 三塁ゴロ→二塁、二塁手が入り（二死）。二塁→一塁（三死）

3回裏

○中田 SBB 一塁前バント→一塁、二塁手が入り（一死）

斉藤 SBSF 空振り三振、捕手が落球→一塁（二死）

○西川 BB 遊撃ゴロ失策、走者一塁

荒川 FF 中越本塁打

○大塚 SS 一塁ゴロ→一塁（三死）

4回表

井上(#12)に代わり、本間(#10)が代打で再出場

本間 初球を三塁前にバント→一塁、二塁手が入り（一死）

○小池 BSBB 四球。

友部 BF 一二塁間のゴロ、一塁走者が打球に当たる（二死）
（当たらなければ外野に抜ける打球）

桜井 BFBB 2球目を一塁邪飛、一塁手落球(失策)。

三塁ゴロ→一塁（三死）

4回裏

坂本 BB 中前安打

○山本 BFF 三塁ゴロ→一塁（一死）

○阿部 SBBF バントがファウルになり三振（二死）

友岡 SBB 右中間安打、二塁走者が生還。走者一塁。

○中田 初球を投前バント→一塁への送球が逸れる（失策）

斉藤 BSB 左飛（三死）

5回表

川内 B 三塁バント安打

○高橋 BFBS 四球

○金子 SB 投手前にバント→三塁送球するもセーフ。一塁に送球すれば
アウトのタイミング

○木村 B 中越二塁打、三者生還

中堅→遊撃→捕手への送球間に打者走者三進

吉沢 BFFB 見逃し三振（一死）

本間(#10)に代わり、代打・朝倉(#7)

朝倉 SFF 遊撃直(二死)、三塁へ送球→三塁手(三死)

5回裏

○西川 BB 一・二塁間安打
荒川 F 右前ゴロ→一塁（一死）、走者二進
○大塚 BBSB 四球
坂本 S 遊撃ゴロ→三塁はセーフ、一塁に送球すればアウトの打球
○山本 B 中飛（二死）、三塁走者タッチアップし生還。走者一・二塁。
○阿部 BS 三塁線を抜く二塁打。二者生還。
友岡 S 遊撃ゴロ→一塁（三死）

6回表

○小池 SB 一・二塁間安打
友部 FSB 空振り三振（一死）
F P（投手）・小川（#18）がOUT、一塁手・西川（#5）が投手、
D P・中田（#8）が一塁手兼務”

桜井 BB 遊撃ゴロ→二塁（二死）。走者一塁。
川内 SBBF 右越三塁打。一塁走者生還
○高橋 B 一塁前にバント→一塁、二塁手が入り落球（失策）。走者生還
○金子 SSF 空振り三振（三死）

6回裏

○中田 SSBF 二塁ゴロ→一塁（一死）
斉藤 B 死球
○西川 SS 左邪飛（二死）
荒川 BS 二塁ゴロ→二塁（三死）

7回表

○木村 B 二塁ゴロ→一塁悪送球場外
吉沢 S 左前安打→本塁、捕手が走者にタッチアウト（一死）
送球間に打者走者は二塁に進塁
朝倉 B 投前バント→三塁タッチアウト（二死）
○小池 SB 投ゴロ→一塁（三死）

7回裏

○大塚 SB 中前安打
嶋田（#27）に代わり、投手・松下（#15）
坂本 BF 三塁ゴロ→二塁（一死）
○山本 SB 右前安打。一塁走者は三進
○阿部 FBB 2球目に一塁走者が盗塁
中飛（二死）、三塁走者が生還（サヨナラ）

試合終了時間：問題終了時間

ソフトボール競技
公式記録法の基礎

不許複製

2015年2月11日 発行

頒価 500円

関東ソフトボール協会記録委員会